

心機一転の春

田中 智子

フリー助産婦(尼崎市)

桜の花咲く4月には……

1年のうちで私が大好きな季節は、桜の花咲く4月です。でも今年のその時期は、私はたぶん鹿児島で迎え、外の景色など感じる余裕もなく忙しく過ごしていることでしょう。

私は今年で、助産婦10年目となりました。正直言ってここまで真面目に続けてこられるなんて思いませんでした。

労働環境も、人間関係も、今まで非常に恵まれた病院勤務でしたが、今年からフリー助産婦となりました。フリーになったものの、やはり所属がないという状態は不安です。病院という組織の中にいれば、経済面でも何不自由なく、それなりに安定した生活は保障されたのに……。

私は今まで型通り、病院の組織の中にいて、それなりに毎日を過ごしてきました。そして今、フリーとなって、これからどのように設計していくか、だんだんはつきりしつつあります。フリーとなった理由は、「私にはどうしてもやり残したことがある」ということでした。助産婦として、小さく生まれてきた子供たちが、どのように育っていくのかを知っておく必要があると思ったのです。鹿児島の地で、産科・小児科などと領域にとらわれないで、医療・看護に取り組む病院のNICU看護を学んでみたいと思っています。

人生80年。今後の学びが、自己成長を続けていく上で貴重な時間となるかどうかは、すべて私次第。5月が来たら33歳を迎える私。「今までの安定した生活を捨てるなんて、ひょっとしたら私

はバカじゃないか」とつぶやきながらも、自ら選んだ道。迷いながら、決して後悔することのないよう、これからの1日1日を大切にしていきたいと思っています。

私って親不幸?!

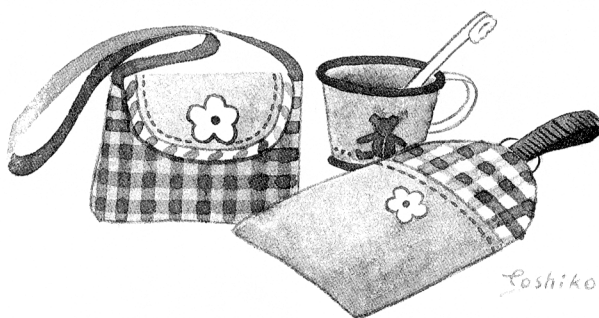
私は4姉妹の次女として生まれたせいか、子供の頃から自由奔放に、周囲を気にせず、明るく育ってきたように思います。2歳年上の姉は非常にしっかりしていて、親より厳しく口うるさいのですが、とても優しく頼れる存在で、私たち姉妹の自慢の姉であります。

その姉が助産婦(現在は2児の母親で専業主婦)となったので、私も自分の将来を考えるにあたって強く影響を受けたのです。以前姉に、「もう助産婦には戻らないの?」と尋ねたことがあります。すると「今は、今までにない勉強をしている」と答えました。

2歳年下の妹も2児の母親で専業主婦です。4姉妹の中で一番小柄ですが元気で、「自分は4姉妹で育ってきたから子供はやっぱ多いほうがいい」と言います。そんな妹も看護婦で、非常にしっかりしていて、困った時は頼りになるので、どちらが姉だかよくわからない時があります。

一番末っ子の妹は5歳年下で、体格は姉妹の中で一番立派なのですが、1児の母親となった今でもとにかく可愛い妹です。

私たちは、父親から、いつも互いに助け合うよう教育されてきたせいか、何かあればすぐに連絡し合っています。私は、この姉妹は、両親からも



らった最高の財産だと感謝しています。そんな4姉妹の中で、いつまでも独りで好きなことばかりしている私は、両親にとって頭痛の種になっているに違いありません。

それぞれの貴重な出会い

「人と人とが巡り会うのに、どれだけの偶然がいるでしょう」これは私が好きな言葉の1つです。

助産婦になってからの3年間は、とにかく無我夢中でした。分娩件数も非常に多く、卒後教育も充実した素晴らしい病院で、そこでは助産婦として、社会人としての基礎を学び、貴重な仲間を得られた場でもありました。さらに専門的知識を深く学びたいと思い、大学病院へ就職しました。ここでの学びと出会いが、私を鹿児島へと導いたのです。

大学病院では本当に様々なことを勉強させていただきました。特に、実際に自分たちで未熟児をみるようになってからは、自ら学び、目標を持つという姿勢を身につけることができました。反面、心身共に非常にストレスフルな毎日でもありました。

医療の現場では、1つ事をなす時、チームワークが要求されると思います。いい仕事をしている時は、素晴らしい仲間もできるんです。困った時は、自然に手が差しのべられ、勇気づけられ、また共に目標となる頂点を目指していく——。大学病院を辞めてフリーとなった今でも、それは続いています。高い頂点を目指して仕事をしていくうちに、不思議と広がっていく仲間たち……。

「田中さんは既存の枠におさまりきらない人」。これは大学病院退職後、大変お世話になったドクターからいただいた手紙に書いてあった一文です。これは誉め言葉だと書いてありましたが、本来の私の性格というか(自由奔放というか)、この一枚の手紙で、私は鹿児島行きを決めたように思います。

南十字星に願いをこめて……

私はいつも夏・冬休みは、南の島へ行くようにしています。この4年間は、職種も年齢も違う仲間6~10人で、バカンスを楽しんでいます。今回、1月に行ったフィジーは、最高でした。

ちょうど雨期ではありましたが、1日だけ澄んだ夜空を見ることができました。そう、あの南十字星を見ることができたんです。日本では決して見ることはできない星。日本では足もとの地面の下にあって見ることはできなかった星座が、頭上に、確かに、輝いていました。「地球は丸いんだな」と思いました。南十字星を見ながら、思わず願い事をしてしまいました。

今までと違う角度から物事を見てもみるのも悪くないんじゃないかって。地球は丸いんだ、だったら、私が今まで見ることはできなかった、南十字星がどこかで見られるのかもしれない……。私の中の南十字星を探してみようと思います。

次は、大学病院の副婦長としてがんばっている額田春美さんを紹介します。